

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

<b>事業名</b>	日・中米カリブ交流事業	<b>担当部局庁</b>	中南米局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度	<b>担当課室</b>	中米カリブ課	課長 野口 泰			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	I-3 中南米地域				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	外務省設置法第4条第2号	<b>関係する計画, 通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程程度以内)</b>	平成25年度は、慶長遣欧使節団出帆400周年にあたる。同使節団は、欧州に渡る途次にメキシコ及びキューバに寄港しており、歴史上両国に寄港した最初の我が国使節団と考えられている。また、2014年は、ジャマイカ及びトリニダード・トバゴとの外交関係樹立50周年であることや日・カリコム事務レベル協議開始20周年であることに鑑み、日カリブ交流年に位置付けられている。上記事情に鑑み、平成25年度中に慶長遣欧使節団のメキシコ・キューバ訪問400周年及び日カリブ交流年を記念し、中米カリブ地域との一層の相互理解促進を目的とした事業を外務省として実施する。なお、慶長遣欧使節団出帆400周年については、宮城県が記念事業を計画しているところ、同県と協力して事業を行うことを模索する。						
<b>事業概要 (5行程程度以内。別添可)</b>	慶長遣欧使節団のメキシコ、キューバ訪問400周年記念レセプションの開催。日カリブ交流年オープニングイベントとしてのレセプション開催及び同交流年の広報資料作成と配布。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算					3
		補正予算					
		繰越し等					
	計					3	
執行額							
執行率 (%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	平成25年度中における慶長遣欧使節団出帆400周年、日カリブ交流年関連各種事業の実施数	成果実績	回				15
		達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	レセプションへの来場者数	活動実績 (当初見込み)	人		( )	( )	— 250
<b>単位当たりコスト</b>	11,128円/人		算出根拠	2,782千円/2回			
<b>平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	レセプション・資料費		2.8				
	旅費		0.1				
	計		3				

事業所管部局による点検

	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成25年度は慶長遣欧使節団出帆400周年、ジャマイカ及びトリニダード・トバゴとの外交関係樹立50周年、日・カリコム事務レベル協議開始20周年であり、かかる年に中米諸国との交流を促進することは時宜に適っている。各種交流事業の相手国窓口は先方政府となることが多いところ、外務省が本件の実施主体となる必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	可能な限り、競争入札あるいは企画競争の実施により、支出額の削減、適正な支出先の選定に努める。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	より高い精度で事後評価の結果が得られるよう、設問項目及び内容を精査する。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		費用対効果を高めるため、適正な方法により支出先を選定し、設問項目の内容を精査する。	
<b>予算監視・効率化チームの所見</b>			
		—	
<b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b>			
<b>補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b>			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	